

## 流山市総合計画後期基本計画策定に伴うタウンミーティング議事録

- 1 開催日時 平成21年8月29日(土)  
午後1時40分から3時40分
- 2 場 所 東部公民館
- 3 出席者  
(1) 市民(40名) 自治会25、NPO等4、その他8、無回答4(重複回答1)  
  
(2) 出席職員等  
(特別職) 井崎市長  
石原副市長  
(施策担当部長) 阿曾都市整備部長  
志村土木部長  
吉田市民生活部長  
海老原生涯学習部長  
高市健康福祉部長  
沼沢子ども家庭部長  
池田産業振興部長  
染谷企画財政部長  
(担当課) 水代企画政策課長  
安井企画政策課長補佐
- 4 配布資料  
書類1 後期基本計画(素案)の広報特集号(校正中)  
書類2 会場説明資料(スクリーン表示内容)  
書類3 分野別計画事例  
書類 後期基本計画素案に関するアンケート

## 5 意見交換

井崎市長あいさつ、染谷企画財政部長による特徴説明、水代企画政策課長による内容説明の後、安井企画政策課長補佐の進行で意見交換を行った。

(市民)

「1 - 4 快適な生活環境を目指した下水道整備の推進」で、配管図という言葉があるか、どの地域をいつごろ整備するかを示した図があるのか。

関連して、雨水対策の言葉はどこかに入るか。

(市)

3年ないし4年間の整備計画、中期計画を公表することとしている。

向小金雨水幹線の事業は、上期、3年間で行う計画である。

(市民)

計画図が、配管図のようになっていて、年度も示されているか。

雨水については、東部中学校のがけが崩れて床上浸水になったことがあり、被害が生じる前に整備しておくべきだ。

(市)

了解した。

(市民)

12年度から10年間の前期基本計画の評価、反省はどうなっているのか。進捗状況をうかがいたい。一言でいうと、8割がた達成したとか、そういう回答をお願いしたい。

後期基本計画については、財政面での噛み合わせはできているのか。しっかりやってもらいたい。

(市)

前期基本計画の振り返り、評価・総括については、平成21年末まで計画期間であり、最終的な評価・総括ではないが、平成20年の11月に6政策と36施策の評価・総括を行っている。こちらに持ってきている。なお、8割がたとか、7割がたとか、では評価していない。例えば、道路を整備することで交通事故を削減するという成果指標があるが、それはすべて終わった段階で評価したい。

(市民)

具体的な話をしていただかないと、納得できない。

(市)

700から800の事業がありますので、関心のある事業を言っていれば、お答えできます。

(市)

後期基本計画の特徴は、財源の裏付けのある計画をつくるところにある。身の丈に合った計画としている。

(市)

市民の皆さんから要望がありますが、やらなければならないものを優先して、できればいいなという事業については着手できないものもある。

(市民)

都市計画道路3・4・10号線は、都市計画決定して30年経つが、事業ができていない。香取神社などは道路が狭い上に、歩道も狭い。通学路になっているが危険である。進捗状況を伺いたい。

跨線橋にスロープがなく、中学生は別の道路を利用している。自転車用スロープができれば通学路が確保できる。

(市)

都市計画道路3・4・10号線は、昨年度に測量を行い、今年度と来年度で事業化に向けての基本設計を行っている。道路の構造、交差点の構造、概算事業について、検討を行っている。今年の11月頃、説明会を開催する予定である。

スロープの件については、検討したが、用地の件で難しいという結論である。

(市民)

スロープは、用地の件もあると思うが、今の話ではやらないととれる。

3・4・10号線については、6号まで、小学校・中学校の前を早く整備して欲しい。

(市民)

40年前、東小学校の前の道路が広くなるということで杭が打ってあった。いつの間にか消えた。整備されれば、エクスプレスが便利になる。市の道路用地が曖昧になっているのではないか。道路の計画はどうなっているか。

市議会議員の数が、多いのではないか。

(市)

議員の件については、議員へ、あるいは議会へ言っていきたい。執行部と議会は、二元代表制のもと対立する関係でもあるので、私から議員の数が多いいのではないかとすることはできない。皆さんから言っていきたい。ここでそういう意見があったということは議会事務局へ伝える。流山の議員定員は36が上限であるが、前

回の選挙前は32、選挙後に28となった。

(市)

道路の拡幅の件については、3・4・10号線は、東小までは計画があるが、その先については計画していない。境界の関係については、以前からお話をいただいております。調査を行っている。補修については、今年度実施予定である。

(市民)

流山市では、家を造るときに集水枡をつけるようにしているか。

(市)

建築確認の時に、指導はしている。しかし義務ではない。大きな開発のときは開発許可の中でやっている。

(市民)

集水枡をつけるため、補助金を出す計画はあるか。

(市)

現在は、補助金までは考えていない。

(市民)

私の地区も、床下浸水が出ている。市道に多孔管を埋めるという考えはあるか。

(市)

その検討は行っている。

(市民)

経済的な効果を考えれば、安くなると思うので、考えていただきたい。  
防災の関係で、流山市を管轄しているのはどこの自衛隊か。

(市)

松戸である。市長室へも、防災訓練にも来ていただいている。

(市民)

流山市から国土交通省への職員の派遣を考えているか。

(市)

環境省へは昨年まで派遣していた。現在、環境省から来ていただいている。国土交通省とは考えていない。

(市民)

市の職員を育て、広い知識を持っていただきたい。

(市民)

「都心から一番近い森のまち」は、耳障りがいい。ここでいう森は、斜面林とかも含めていると思うが、現実にはゴミ捨て場になっている。地権者は山林の掃除をしない。雨水浸透式の道路ができたが、落ち葉でその機能が果たせていない。地権者の方に、掃除をするように、業者を紹介するとか行って欲しい。

(市)

ご提案については、検討させていただきたい。

都市計画上きちっと保存される森というのは、市街化調整区域にある森か、市街化区域内の公園や緑地として指定されたところである。セントラルパーク駅前の運動公園とか、市野谷の森は、残ったが、市街化区域内にある雑木林は保存されるとは限らない。

(市民)

東部出張所で大半ができるようにして欲しい。ここから市役所へ行くのが大変で、バスがなく、交通手段がない。

T X関連の流山と、T Xに関係の無い流山と、格差が生じていないか。T Xに関わり無く、流山全体をみて欲しい。

(市)

東部出張所の機能の充実でどのようなことを想定しているか。

(市民)

突っ込んだ重要なことだと、市役所へ行かないとできません、ということがある。

(市)

住民票とかはどこの出張所でもできる。税の関係は、コンビニでもできるように準備を進めている。機能を充実していくことは大切だと思うので、こういうものを、ということがありましたら、市の方へおっしゃってください。

T X沿線とそうでない地域の格差ということについては、市政運営という意味では、十分に配慮していきたい。これまでの蓄積があるようですが、私としては、ぐりーんバスを導入したり、向小金の福祉会館で住民票を申請すると東部出張所で処理をして福祉会館で受け取ることができるようにしたりして、東部地域においても力を入れている。東部公民館の中にある図書館分館が狭くて暗い、東部出張所も老朽化しているので、東部出張所と図書室を、皆さんと考えながら新しく考えたいと思っている。使いやすい施設を一緒に考えていきたい。

(市民)

前期10年間の総括はきちんと広報でも掲載していただいて、それに対して後期の意見をいただくというようにしてはいかがか。大きな事業に対してでも良い。

財政計画について、30日の総選挙を経て地方分権が進んでいく。市の体制を再構築していく必要があると思う。NPOを含めた公民パートナーシップで、行政のスリム化も必要だ。人件費が大きいので、10年の中で定員がどうなるか。

東部地区で、運動公園地区の区画整理が進められている。樹林が40ヘクタールから6ヘクタールになるという。小高い森も平らになっていく。都心に一番近い森は、東部地区に多いと思うが、そういう森を残してはじめて森という言葉が出てくるのではないか。3・1・1号線は、今の時代にそれだけの道路が必要か。見直すことで森を残すことが可能ではないか。

ハザードマップが公表されている。後期の10年間で避難対策、防災対策を重点的に行っていく必要がある。

(市)

流山市は、指定管理者、業務委託で、全国的にも進んでいる。市民団体をお願いしている部分でも、全国から視察がある。人件費については、市税に対して人件費がいくらか、民間で言えば労働分配率に近いが、流山市では6年前に52.5%であったのが、現在39%まで下がっている。民間企業と比べても悪くない数字と聞いている。この数字を下げるということは、職員は仕事のやり方を変えて効率よくしていかなければならない。その中で市民サービスの充実を図っていく。定員適正化計画、アウトソーシング計画と連動しながら、30%台で推移するようにしていく。

区画整理事業地の緑地については、都市計画決定している。減歩で区画整理事業を進めているので、地権者は活用しないと収支が合わなくなる。その中で考えたのがグリーンチェーン戦略である。開発したときにグリーンチェーンで高木を植えていただき、その際に市内の金融機関から低利の融資が受けられる、そういう仕組みをつくって、今、2000戸の戸建て、あるいはマンションが認定を受けている。任意なので、認定を受けた物件は高くてもよく売れるという市場をつくりたい。CO2削減の吸収源としていきたい。

3・1・1は、県も見直すということであるが、森を残すことについて検討の余地があればお願いしていきたい。

(市)

今年の5月に、自治会を通じて地震ハザードマップを配布した。自主防災組織の設置等も進めている。今後とも、各自治体と身のある防災対策を進めていきたい。

(市)

避難場所になる小中学校の体育館の耐震工事を進めており、6年前に耐震率4%であったが、今年度中に80%、校舎については22年度中に、体育館を含めて23年度中に耐震工事が終わる。

人件費については、確かに大きな割合を占めているが、人員削減を目標値を掲げて行ってきたわけではないが、流山市の人口に対する職員の数は、千葉県内でもっとも少なくなっている。

(市)

前期基本計画の評価については、昨年11月に行っている。最終的には前期の期間が終わってからまとめる。素案の中には、前期基本計画の評価・総括の記述が含まれている。

(市民)

こういったタウンミーティングは良いことだと思う。

パブリックコメントについては、アウトソーシング計画のときに出したところ、回答をいただいた。今回のパブリックコメントでは、回答について連絡をいただくことは可能か。

(市)

意見はきちんと読んでいる。インターネットで公開しており、個々には回答していない。市の考えを付して一括で公表する。

(市民)

市のホームページをみると、部長、課長の取り組みが掲載してある。これを、部長さん分だけでも広報に掲載してはどうか。

(市)

大変に刺激的なご提案だと思う。どのように掲載できるか、検討したい。

ホームページでは、写真を入れてはどうかと考えたこともある。

(市民)

避難場所だった流山東高校は、もう無くなっている。来年3月の廃校に向けて説明会があったが、流山市の避難場所になっているはず。

(市)

元の東高校は、おおたかの森高校が管理をしているので、そちらの方に伝えてある。旧東高校は養護学校(特別支援学校)の分校になるということなので、県へ働きかけていく。

(市民)

流山市の緑の財産は、斜面林である。新川耕地については、地権者と税金の問題など話がついている。最近、前ヶ崎でそういう行動を起こしていただいている。市街化調整区域の斜面林は残っている。貴重な財産であるので、保存できるようバックアッ

プをお願いしたい。

(市)

市では1億から2億円を基金に積んでいる。市民の方の関心も高まり、市の職員も寄付をするようになった。毎年1千万円以上基金が増えている。皆様にもご協力をいただきたい。市民と緑が流山市の資産だと思うので、できるだけ保存できるようにしていきたい。

(市民)

区画整理で、もうなおせないとのことだが、八木南小学校の近くの調整池は5ヘクタールから2.5ヘクタールにして、あとは住宅にするという。法律で決まったことだからと考えるはいけないのではないか。

4節の中で子どもの育て方とかあるが、東京都では校庭に芝を植えているという。後期の中で位置づけてはいかがか。

(市)

宅地が増えれば事業費が増えるので、土地を提供した方が損をしない方法である。ところが、売る土地を減らすのは地権者全員に関わってくるので、マイナスの利害が生じる。熊野神社のところとか、他の人の利害を侵害しなければできないことなので、売ろうとしている土地を減らして緑地にしてもらうことはできない。市で買おうとすると、市で借りている公園などを買うだけで130億円以上(後日精査:150億円程度)要する。市税の1年分の7割に相当する。現実は何十億円用意してできるか、というところなので難しいところだ。

学校の芝生化については、来年度からトラックの外側で検証を始める。

(以上)